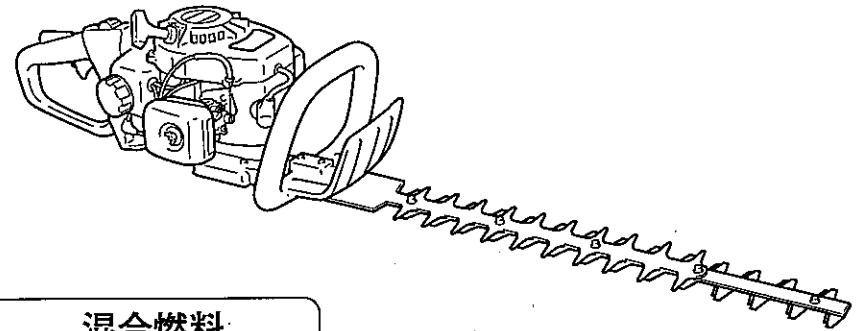
Hitachi Koki

日立エンジンヘッジトリマ

580mm　CH 58E2

取扱説明書

このたびは日立エンジンヘッジトリマをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

排出ガス自主規制
適合証

混合燃料

燃料混合比		
ガソリン		2サイクル専用オイル
25	：	1

HITACHI

目　次

ページ

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注：製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

エンジンヘッジトリマの安全上のご注意

・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

全般的なこと

① 指定された用途以外に使用しないでください。
② 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。
・そで口をきちんと閉めた作業服、すそ閉まりの良い長ズボンを着用してください。また、ネクタイや装飾品等の巻き込まれたり、引っ掛かりやすいものは着用しないでください。
・髪の毛は肩より上でまとめてください。
・保護メガネを着用してください。
・ヘルメットを着用してください。
・防振性のある厚めの手袋を付けてください。ただし、滑りやすいものや、厚すぎて機体を操作しにくいものは使用しないでください。
・滑り止めの付いた安全靴を履いてください。
・耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
・ほこりの多い場所では、防じんマスクを着用してください。
保護具を着用しないで作業すると、けがなど事故の原因になります。
③ 油断しないで十分注意して使用してください。
・取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に使用してください。
・常識を働かせてください。
・疲れているときは、使用しないでください。
・視覚や敏しょう性、判断力に影響をおよぼすような酒類、薬物を飲んでいる人は使用しないでください。
④ 身体を冷やさないようにしてください。
⑤ 子供を近づけないでください。
・作業者以外、機体に触れさせないでください。
・作業者以外、作業場所へ近づけないでください。

⚠ 警　告

⑥ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れな人には機体を使用させたり、貸さないでください。

⑦ 夜間や天候不良などの視界の悪いときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

足元が不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。

⑧ エンジンの回転中は、ブレードに手や身体および衣服などを近づけないでください。

けがなど事故の原因になります。

⑨ スロットルレバーを低速の位置にしたとき、ブレードの動きが止まることを確認してください。ブレードの動きが止まらない場合はキャブレターを再調整してください。

けがなど事故の原因になります。

⑩ ブレードの取付け、取りはずしを行なう場合は手袋を付けてください。

けがの原因になります。

⑪ 指定の付属品やブレードを使用してください。

・この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やブレード以外のものを使用しないでください。

けがなど事故の原因になります。

⑫ 万一の事故に備え、応急手当用品の入った救急箱を作業場所の近くに用意してください。

使用前

① 始動前にブレードを点検してください。

・ブレードにヒビ割れ、傷、曲がりがあるものは使用しないでください。

けがなど事故の原因になります。

② 始動前に各部を点検してください。

・機体に損傷がないか、正常に作動するか、所定機能を発揮するか確認してください。

・ねじのゆるみ、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

・異常がある場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

⚠ 警　告

③ 燃料を補給するときは注意してください。

・エンジンを停止後、機体が冷えてから補給してください。

・火気を近づけないでください。タバコを吸わないでください。

・燃料がこぼれたら、よくふき取ってください。

爆発や火災の原因になります。

④ エンジンを始動する場合は注意してください。

・機体を平らな場所に置いてください。

・他の人を近づけないでください。

・ブレードの刃先を地面や木枝などに触れさせないでください。

・スロットルレバーは低速の状態にしてください。

・ブレードや各部の点検・調整に使用したドライバやスパナが取りはずされているか確認してください。

・周囲にかれ草、燃料などの可燃物のある場所で行なわないでください。

・燃料を補給した場所から3m以上離れた場所で行なってください。

不用意な始動は、けがや火災の原因になります。

使用中

① 無理な姿勢で使用しないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

・足元の不安定な場所では使用しないでください。はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。

転倒したり落下して、思わぬ事故の原因になります。

② エンジン回転中は、ブレードに手や身体および衣服などを近づけないでください。

けがの原因になります。

③ マフラなどの高温部や、点火プラグ・プラグキャップ・高圧線まわりに触れないでください。

火傷や感電の原因になります。

④ 使用中は、前後のハンドルを両手でしっかり握ってください。

⑤ 火気に注意してください。

・運転中は燃料タンクのキャップをはずさないでください。

・火気を近づけないでください。タバコを吸わないでください。

・燃料、可燃性ガス、その他の可燃物のある場所では使用しないでください。

・乾燥地帯で使用する場合は、消火用具を準備してください。

爆発や火災の原因になります。

⚠ 警　告

⑥ 排気ガスに注意してください。
・屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
・建物、その他の設備に排気ガスが入らないように注意してください。
ガス中毒や窒息の原因になります。

⑦ 次の場合はエンジンを停止し、ブレードが止まるのを確認してください。
・使用しない、または修理する場合。
・ブレード、アタッチメント、その他機体の点検、調節、交換などを行なう場合。
・危険が予想される場合。
・作業場所を移動する場合。
・ブレードにかみ込んだものを取り除く場合。
・作業場所の障害物を取り除いたり、刈り込んだ枝などを運ぶ場合。
・機体を地面に置く場合。
エンジンが回転したままでは、思わぬ事故が起きます。

⑧ 誤って、ブレードが障害物に当たったときは、直ちにエンジンを止めて、ブレードを点検してください。
けがなど事故の原因になります。

⑨ 他の人を15m以内に近づけないでください。また二人以上で作業するときは、15m以上離れてください。
ブレードが当たって、思わぬ事故が起きます。

⑩ 傾斜地などの高い所で作業するときは、下に人がいないことを確かめてください。

⑪ 誤って機体を落としたり、ぶつけたり、または重いものの下にしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがや火災の原因になります。

⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音・異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがなど事故の原因になります。

(使 用 後)

① 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、ブレードに付属のブレードカバーをかぶせてください。
ブレードが身体に触れて、けがの原因になります。

⚠ 警　告

② 機体は、注意深く手入れしてください。
・安全に能率よく作業していただくために、ブレードは常に手入れをし、よく切れる状態に保ってください。
・付属品やアタッチメントの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。

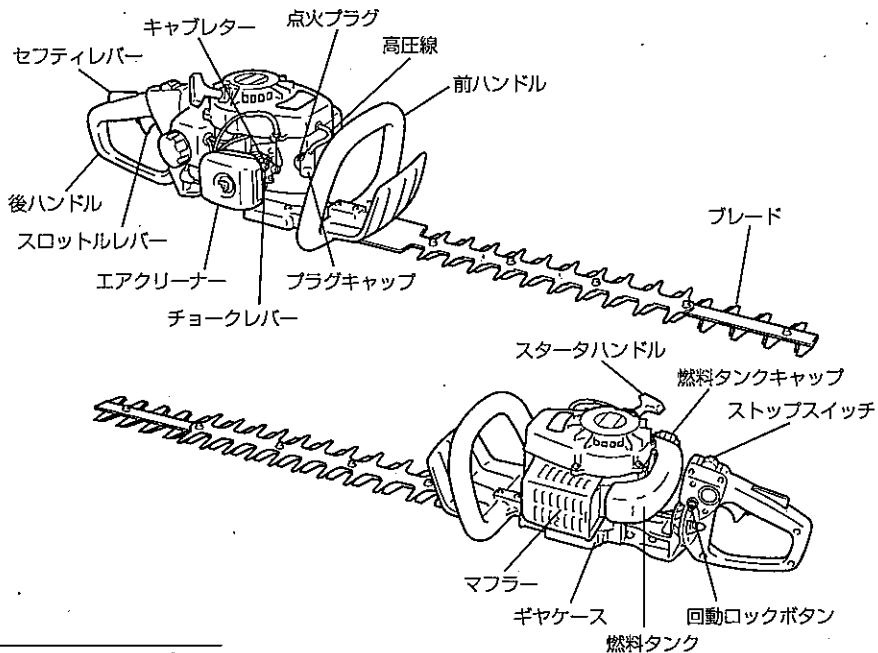
③ 修理は専門店に依頼してください。
・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

④ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
・ストップスイッチは停止の位置にして保管してください。
・燃料を抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。

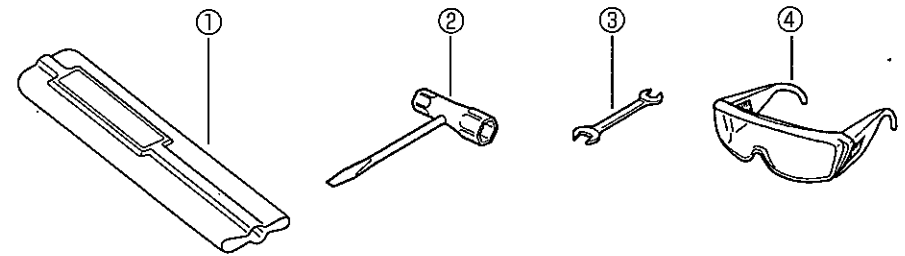
⑤ 燃料は安全な容器に入れ、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。

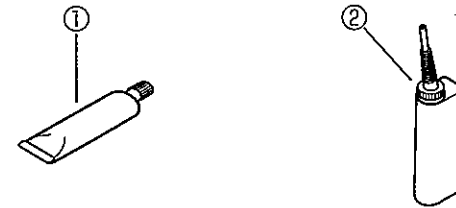
⚠ 注　意

① 長時間の連続使用を避け、30分間作業したら5分以上休んでください。
行政機関では次のような指導をしているので、健康管理のために守ってください。
〔1回の連続使用時間　30分以内、一日の使用時間　2時間以内〕

各部の名称

仕　　様

項　　目	CH58E2
寸　　法	長さ985mm×幅240mm×高さ195mm
エンジン形式	空冷2サイクルガソリンエンジン
排　気　量	21.2mL {21.2cc}
気　化　器	ダイヤフラム式
点火プラグ	チャンピオン RCJ−8Y
始動方式	リコイル式
動力伝達方式	自動遠心クラッチ
質　　量	4.9kg
点火方式	フライホイルマグネト式（電子点火方式）
燃料混合比	ガソリン25：オイル1（オイルは2サイクル専用オイル）
燃料タンク容量	0.33L
ブレード長さ	580mm
ギヤケース潤滑グリース	日本礦油ニッペコ MP-2または同等のグリース

標準付属品

① ブレードカバー……………………………………………1個
② 両口ボックス（10×19mm）………………………………1個
③ 両口スパナ（8×10mm）……………………………………1個
④ 保護メガネ……………………………………………………1個

別売部品

	コードNo.	品　名
1	674852	フレキシブルシャフトグリース（ギヤケース潤滑用）
2	684565	燃料混合器（600mL）

用　途

庭樹などの刈り込み（枝の直径が6mm以下）

○生垣などの刈り込み

○庭樹の整枝、せん定

ご使用前に

⚠ 警　告

・ブレードの点検を必ず行ない、ヒビ割れ、傷、曲がりなどの異常がないかを確認してください。異常のある場合は絶対に使用しないで必ず新品と交換してください。

1. 使用燃料

⚠ 警　告

・火気を近づけないでください。タバコを吸わないでください。

ガソリンとオイルの比を25：1で混合したものをご使用ください。

注 ・燃料に混合するオイルは必ず2サイクル専用オイルと指定されているものを使用してください。
・長期間保管して揮発分の少なくなった燃料および炎天下など高温状態に置かれて変質した燃料は使用しないでください。
・燃料の混合には機体の燃料タンクを使用しないでください。ガソリン用の容器を使用してよく混合してください。

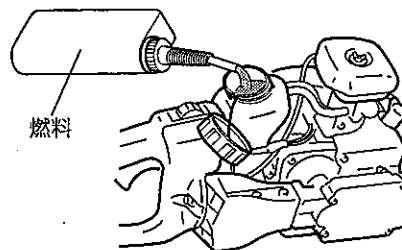
始　動

⚠ 警　告

・機体に損傷がないか、正常に作動するか、所定機能を発揮するか確認してください。
・ねじのゆるみ、燃料漏れ、電気配線のいたみ、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ブレードや各部の点検・調整に使用したドライバやスパナが取りはずされているか確認してください。
・ブレードにかぶせてあるブレードカバーをはずしてください。
・屋内や換気の悪い場所で始動したり、作業しないでください。
・周囲にかれ草、燃料などの可燃物のある場所で行なわないでください。

1. 燃料を燃料タンクに入れる

⚠ 警　告

・火気を近づけないでください。タバコを吸わないでください。
・エンジンを停止後、機体が冷えてから燃料を補給してください。
・燃料タンクには外気との間に圧力差が生じています。タンクキャップをすこしゆるめて圧力差を取り除いてから開けてください。
・燃料はあふれると危険ですからタンクの口もといっぱいに入れないでください。

始動前のエンジンが冷えた状態で、燃料［ガソリン25：オイル（2サイクル専用オイル）1］を燃料タンクに入れます。

燃料がこぼれないように注意し、こぼれたときは燃料タンク・機体まわりをきれいにふき取ってください。

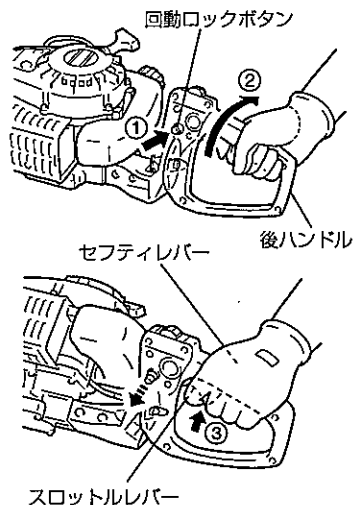
燃料を補給した後は、タンクキャップをしっかりと締めてください。

燃料混合表（燃料混合比25：1）	
ガソリン	2サイクル専用オイル
1,000mL（1 L）	40mL
2,000mL（2 L）	80mL
5,000mL（5 L）	200mL

2. 後ハンドルの回動操作の手順

⚠ 警 告

・回動操作をする前に必ずエンジンを停止してください。

本機の後ハンドルは、作業者が楽に快適な姿勢で庭樹などの刈り込み作業ができるよう回動することができます。0°、45°、90°でロックしますので回動位置を選んでください。

次の手順で後ハンドルを回動してください。

(1) 回動ロックボタンを押して、ロックを解除します。(左図①)

(2) 後ハンドルを好みの位置（左右45°あるいは90° …下図参照）に回動します。(左図②)

ロック位置に到達すると、カチッという音がします。

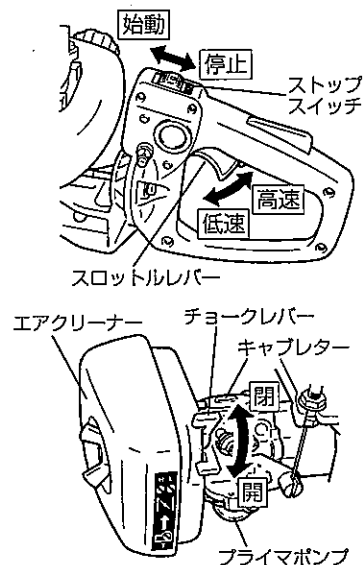
(3) セフティレバーを押してからスロットルレバーを握ると、カチッと音がして回動ロックボタンが戻り、後ハンドルがロックします。(左図③)

後ハンドルのロック位置		
0°	右へ45°	右へ90°
	左へ45°	左へ90°

3. 始動操作の手順

⚠ 警 告

・燃料を補給した場所から3m以上離れてください。
・機体の周囲に他の人がいないことを確認してください。
・スロットルレバーは低速の状態にしてください。
・スロットルレバーを握ってスタータハンドルを引くと、エンジンが始動したときブレードが作動します。スロットルレバーから手を離して始動してください。

エアクリーナー
チョークレバー
キャブレター
閉
開
プライマポンプ

次の手順でエンジンを始動してください。

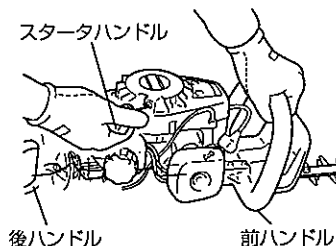
注 **・運転後でエンジンが暖まっているときは、手順の(4)、(6)項でチョークレバーを常に開の位置にしておいてください。**

(1) ストップスイッチを始動の位置にします。

(2) スロットルレバーを低速の位置（スロットルレバーから手を離した状態）にします。

(3) キャブレターのプライマポンプを押す・離すの操作を数回繰り返し、燃料がプライマポンプ内に入ることを確認します。

(4) チョークレバーを閉の位置にします。

(5) 機体が横転しないように左手で前ハンドルをじっかり握り、右足で後ハンドルを押さえます。スタータハンドルを静かに引き、重さを感じたらそのまま力を入れて一気に引っ張ります。（左下図）

注 **・スタータハンドルはロープ引き出し口の方向にならって、まっすぐ引いてください。**
・ロープはいっぱいに引き切らないでください。
・スタータハンドルを引いた後、手を離さず、静かに戻してください。

(6) スタータハンドルを2〜3回引いてエンジンが始動したら、チョークレバーを開位置に戻します。いったん始動してすぐ止まったときはチョークレバーを開位置に戻して、もう一度スタータハンドルを引くと始動します。

(7) スタータハンドルを2〜3回引いても始動しないときは、チョークレバーを開の位置のままにしてスタータハンドルを繰り返し引くと始動します。

(8) エンジンが始動したら、スロットルレバーが低速の位置でブレードの動きが止まることを確認してください。

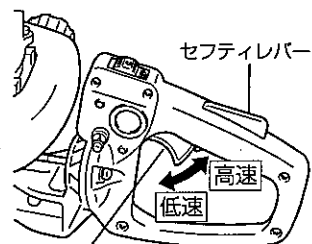
⚠ 警告

・スロットルレバーを低速の位置にしたとき、ブレードの動きが止まることを確認してください。ブレードの動きが止まらない場合はキャブレターを再調整してください。（18ページの「7.キャブレターの調整」参照）
・機体から離れるときは、必ずストップスイッチを停止の位置にしてください。

4. 暖気運転

作業を始める前に2分間ほどエンジンを低速運転します。

運転方法

1. 回転速度の調節

スロットルレバーが低速の位置のときは、ブレードは動きません。

スロットルレバーを引いて高速側にしていくと、エンジンの回転が上がり、ブレードが動き始めます。

刈り込みの負荷に応じて回転速度を調整してください。

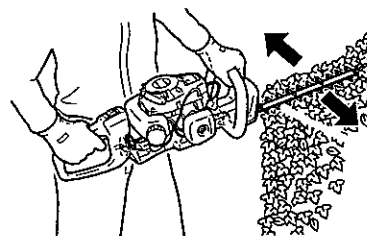
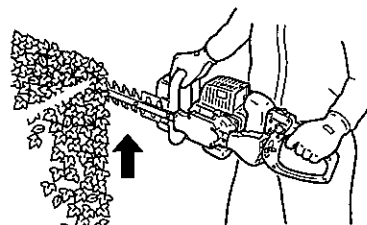
・スロットルレバーはセフティレバーを押さないと引けない構造になっています。

2. ならし運転をする

ご購入後、初めてお使いになるときは、エンジン各部のなじみを十分にするため、最初から2時間ぐらいまではあまり回転を高くしないで作業し、ならし運転をしてください。

3. 刈り込み方法

⚠ 警告

・夜間や天候不良などの視界の悪いときには使用しないでください。
・雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
・刈り込みは、ブレードを身体から外に向けて行なってください。
・前後のハンドルを必ず両手で握り、ブレードには絶対に触れないでください。
・作業中は生垣や植込みの中の針金などの障害物に十分注意してください。
・ブレードに障害物がかみ込んだときには、必ずエンジンを停止してから障害物を取り除いてください。
・太さが6mm程度以上の枝は刈らないようにしてください。
・常に足元をしっかりさせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように、十分注意して使ってください。
・他の人を15m以内に近づけないでください。また二人以上で作業するときは、15m以上離れてください。
・誰かが15m以内に近づいてきたら、直ちにエンジンを止めてください。
・機体の調子が悪かったり、異常音・異常振動がしたときは、直ちにエンジンを止めて、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。

生垣などの上面を刈るときは、ブレードを右から左へまたは左から右へ動かしながら刈り込みます。ブレードの刃部をわずかに下へ向けながら動かすと、刈りそろえがうまくできます。

側面を刈るときは、ブレードを下から上へ動かしながら刈り込むと、刈りそろえがうまくできます。

停　止

⚠ 警　告

- **エンジン停止後もマフラが熱いので枯草など燃えやすい所へ置かないよう注意してください。**
- **エンジン停止後、機体が冷えるまではマフラなどの高温部に触れないでください。**
- **移動時または機体を地面に置くときは、思わぬ事故防止のため、エンジンを停止し、ブレードの動きが止まるのを確認してください。**
- **機体を移動したり、保管するときは、ブレードにブレードカバーをかぶせてください。**
- **再び運転するときは、ブレードカバーを忘れずにはずしてください。**

スロットルレバーを離し、エンジンの回転を下げて、しばらく運転します。次にストップスイッチを[停止](STOP)の位置に戻すとエンジンが停止します。

緊急の場合は、直ちにストップスイッチを[停止]の位置にしてエンジンを止めてください。

エンジンが停止しないときは、チョークレバーを[閉]の位置にしてください。エンジンは失速し停止します。この場合は、再びご使用する前に、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。

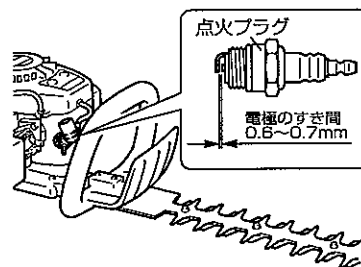
保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れは、エンジンを止めて機体が冷えた状態で行なってください。またプラグキャップをはずしてください。**
- **点検後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。**

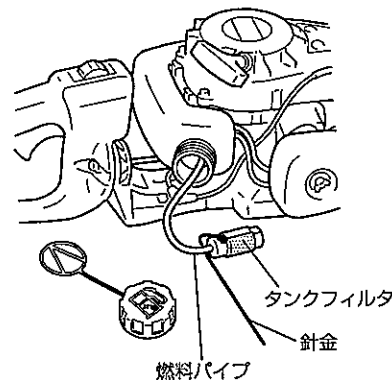
次の要領で常に機体の手入れを心掛けてください。

1．点火プラグの点検

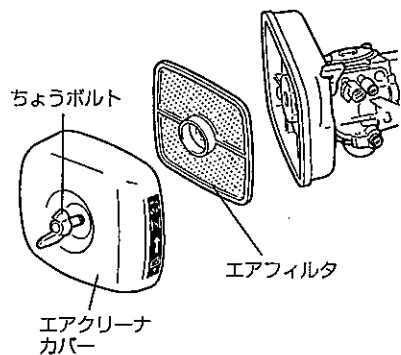
点火プラグの状態はエンジンの調子に大きく影響しますので、ときどき点検してください。

(1) 電極部がよごれている場合はワイヤブラシなどで良く掃除してください。

(2) 電極のすき間が所定の寸法(0.6~0.7mm)でなかったり、電極部がひどく焼け、丸くなっていたり、ガイシ部にひびが入っているときは新品と交換してください。

[注] **・点火プラグは必ずチャンピオン RCJ−8Yをご使用ください。**

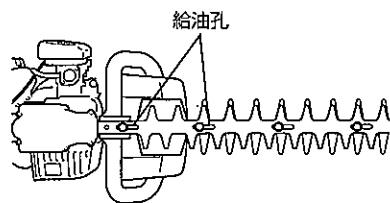
2．タンクフィルターの点検

タンクフィルターがつまるとガソリンが上らず、エンジンの回転不調の原因になりますので、ときどき点検してください。

よごれているときは、針金などで燃料給油口から引き出してガソリンでよく洗ってください。

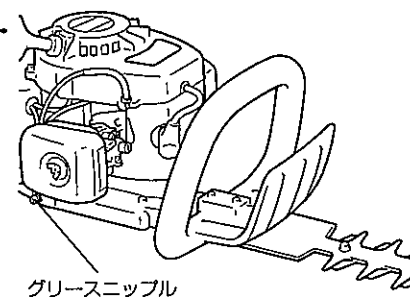
3. エアクリーナの掃除

チョークレバー（12ページの左中図参照）を閉じてからちょうボルトをゆるめてエアクリーナカバーをはずしてください。エアフィルタを取出し、よごれをブラシで落とすか、中性洗剤で洗ってください。中性洗剤で洗ったときは、十分に水洗いし、よく乾かしてください。

とくにほこりの多い場所で使用するときは、1日に1回は掃除してください。

4. ブレードへの給油

⚠ 警　告
・ブレードには鋭利な刃が付いています。手袋を付け、けがをしないようにしてください。

通常の作業状態では4時間ごとにブレード（特にボルトで固定した箇所）にオイルを2、3滴給油してください。

作業が終わったときには、ブレードの汚れを軽油とオイルを1：1の割合で混合したもので洗い落としてください。

5. ギヤケースへの給油

ギヤケースにはグリースが入っています。おおよそ作業18時間ごとにギヤケースのグリースニップルからグリースを補給してください。

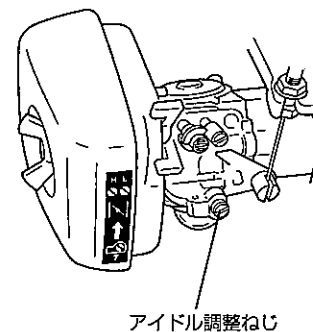
ギヤケースには約25gのグリースが給油されています。

グリースはフレキシブルシャフトグリース（P8、別売部品参照）を使用してください。

6. ブレードが切れなくなったとき

ブレードの刃先が摩耗したり、上下のブレードのスキマが狂うと切れ味が悪くなります。その場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご用命下さい。

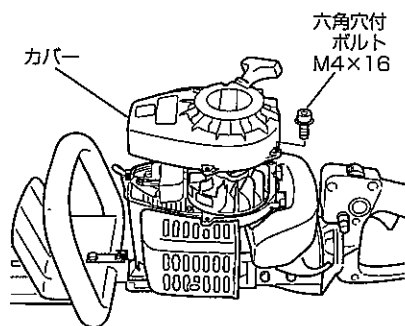
 ・上下のブレードのスキマは工場出荷時にブレード下のボルトで調整してありますので調整しないでください。

7. キャブレターの調整

スロットルレバーを[低速]の位置にしてアイドル調整ねじをしめ込むと低速回転（アイドリング回転）が高くなり、ゆるめると低くなります。スロットルレバーを低速の位置にしてもブレードが動くときは、ブレードが動かないようなアイドリング回転に調整してください。

 ・アイドリング回転を低くしすぎると、エンジンが停止することがあります。

8. 各締付部および燃料漏れの点検

各締付部のボルト・ねじ・ナットのゆるみや脱落、その他の不具合がないかをよく調べてください。

9. 機体の掃除

(1) 機体全体のホコリやごみを取り除いてください。
(2) シリンダのひれにごみがつくと、冷却風が通りにくくなり、過熱の原因となります。
六角穴付ボルトM4×16（4本）をゆるめてカバーをていねいにはずし、シリンダのひれについたごみを取り除いてください。
(3) マフラの排気穴にマイナスドライバなどを入れて排気穴のカーボンつまりを掃除してください。

10. 定期点検

1年に1度以上は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付け、定期点検を行なってください。

保管方法

ヘッジトリマを長持ちさせ、性能を十分発揮するには十分手入れをし、保管方法に注意を払うことが大切です。
(1) 燃料タンクおよびキャブレターから燃料を抜きとってください。

・キャブレターから燃料を抜くときは、エンジンを始動させ、燃料切れにより停止するまで低速運転してください。
・キャブレター内に燃料が長期間残っていると、変質してキャブレター内部を腐食させ、また燃料のオイル分が通路をふさぎ、始動不良になります。

(2) ストップスイッチを停止の位置にしてください。
(3) プラグキャップを点火プラグから抜いてください。
(4) 全体をよく掃除し、油を湿した布でふき、ほこり、雨水のかからない乾燥した場所に保管してください。
(5) エアフィルタの掃除をしてください。
(6) シリンダのひれやカバーからほこりを取り除いてください。
(7) 点火プラグをはずし、その穴から2サイクル専用オイルを数滴落とし、スタータハンドルを2～3回引いたのち点火プラグを取付けてください。
(8) 火気のない所に保管してください。
(9) 燃料は火気のない冷たい乾燥した場所に、安全な容器に入れて保管してください。また、お子様がいじらないよう鍵のかかる容器にしてください。

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご用命ください。
ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。
その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

この機体は、（社）日本陸用内燃機関協会の小形汎用エンジン排出ガス自主規制に適合しています。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

故障の発見と処置

状況		原因	処理
スタータハンドルが引けない	クランクシャフトが回らない	ピストンリング焼付き	分解、部品交換
		コンロッド軸受部焼付き	分解、部品交換
始動しない	始動操作を繰り返しても点火プラグがガソリンでぬれない	タンクに燃料がない	補給
		タンクから出ている通気孔（ブリーザ）つまり	交換
		タンクフィルターの目づまり	掃除または交換（16ページの2.参照）
		キャブレターにごみがつまっている	分解、掃除
		スロットル、チョークレバーの開度不適	調整（12ページ参照）
	火花が出ない	点火プラグ不良	掃除または交換（16ページの1.参照）
		点火プラグ、キャップ接続不良	点検または交換
		高圧線断線、端子はずれ	修理または交換
		コイル断線、不良	交換
	点火プラグ電極間に異物がはさまりショートしている		異物除去。しばしば起る場合はエンジン分解、洗浄（16ページの1.参照）
	圧縮がない	ピストンリング不良	交換
		ピストン摩耗	交換
		オイルシール寿命	交換
始動するが爆発が続かない	点火が弱い	点火プラグ汚れ、不良	掃除または交換（16ページの1.参照）
	圧縮が弱い	ピストンリング摩耗	交換
		オイルシール寿命	交換
	火花が強く、圧縮もよい	キャブレターのごみづまり	分解、掃除
始動するが…	チョークをあけると止まる	キャブレターのごみづまり	分解、掃除
	回転が変動する	キャブレターのごみづまり	分解、掃除
	燃料消費が多すぎる	エアクリーナのごみづまり	掃除（17ページの3.参照）
	アイドリング回転でブレードが動く	アイドリング調整不良	キャブレターの調整（18ページの7.参照）
		クラッチ部不良	交換

メ　　モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目1番地1（日本生命札幌ビル）	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
関東支店	〒110-0016	東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）	☎(03) 5812-6331(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号	☎(0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号	☎(082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

●電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9:00～午後5:00）

電動工具ホームページ　http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

909
部品コード　C99150601